

森林環境交付金事業

まいたけ自然栽培(埋め込み作業)体験

福島県では平成 18 年度より新たな財源として森林環境税が設けられ、一人ひとりが参画する森林環境づくりがスタートしました。本町としては、児童・生徒を対象に森林環境学習の推進を図っているところであります。

その事業の一環として、木とふれ合い自然の恵みや木の生命力等を学び、森林を守り育てる意識の醸成を図る目的で小学 6 年生が日本菌学会会員 鈴木正範さん(下北迫苗代替)の指導を受けてまいたけの自然栽培(埋め込み作業)を体験しました。

広野小学校 6 年生 まいたけ自然栽培(埋め込み作業)を体験



平成 20 年 3 月に木槎の原木を伐採、玉切りしたものを煮込み殺菌しました。



まいたけを埋め込む床を作りました。



原木を袋詰めして種菌を接種、培養したものを一人一人受け取りました。



子供たちが袋からだして一つ一つ並べました。



埋め込み方法は数体の櫓木をまとめて縦埋めにする方法で行い、覆土は 2~3 cm を目安にして、みんなですこップで土をかけて埋め込みました。



土が乾かないようにぶなの木の葉をかけました。まいたけの発生は 9 月中旬ごろになりそうです。

7月10日(木) 田の草とりを体験



◀子どもたちは素手で草取りを行いました

7月10日(木) 広野小学校5年生60名は田の草とりを体験しました。総合学習事業の一環として、日本の食糧生産を担う農業を体験し、学校給食における自分達の生産した地場農産物の活用について学ぶことを目的に行いました。

子供たちは、5月22日に自分達で田植えた10アールの田んぼの草とりを行い、除草剤を散布しないで生い茂る自分たちの田んぼに裸足で入り田の草の多さに驚きながら、一本一本素手で除草していました。

7月13日(日) 町村対抗球技大会が 広野を会場に行われました



▲グランドゴルフ会場は広野中学校



▲熱戦が繰り広げられた野球

平成20年度双葉郡町村対抗球技大会が広野町総合グラウンドなど(他3会場)で行われました。大会は野球、家庭バレーボール、ゲートボール、グランドゴルフの種目別によって争われ参加者はそれぞれの競技を楽しみながらさわやかな汗を流していました。



▲ゲートボールの様子



▲バレーボールの様子

7月15日(火) カレーパーティーを開催 幼稚園



▲自分たちで作ったカレーのおいしさは格別

園児たちが幼稚園の敷地内で育て、収穫したジャガイモ、ナス、ピーマン、きゅうりを使ったカレーパーティーが行われました。園児たちは包丁でジャガイモを丁寧に切り、カレーの具材の準備をしました。出来上がったカレーはみんなでおいしくいただきました。おいしくておかわりをする子どもたちもたくさんいました。園児たちは、自分たちで育てた野菜の収穫を喜んでいる様子でした。